

N P O 法人

子どもの虐待防止 ネットワーク・かがわ

ニューズレター No.21



家庭訪問型の子育て支援「ホームスタート」

子育て支援が広がりを見せる一方、虐待と思われる事件が後を絶たない現状があります。地域の連携、見守りの必要性が認識され、自治会・交通安全友の会・青少年健全育成協議会・民生委員会・民生児童委員会・PTAなど、様々な団体が手を取り合って、地域の子どもたちの安全を守ろうと活動を始めています。そのような沢山の人の目が、気になる親子、心配な家庭を発見しています。しかしながら、家庭の中に一歩踏み込んで行くことが難しく、積極的な事件予防あるいは虐待予防が求められていました。

そんな中、2009年に日本に上陸したホームスタートが、「孤立感の解消」をはじめ、様々な効果を上げています。東日本大震災から3年、こもりがちな子どもや、子育てに困難を抱え苦悩する親たちを支えるべく、ホームスタートのスキーム（地域組織）が次々設立され、蓄積された情報・知識・技法を使って、彼らを支えています。

私たちは、この組織的な家庭支援であるホームスタートを香川で展開すべく、『ホームスタート・おりーぶ（プレスキーム）』を立ち上げました。ホームスタートは要望のある家庭を支援しますが、地域の様々な方の協力を必要とする活動でもあります。支援を必要としている家庭に気づいた方は、ホームスタート・おりーぶをご紹介下さい。「協力しよう」という方は、是非ホームビジターになってください。皆様のご協力をお願い致します。

お問合せ専用☎ 080-2985-1556

http://kcapn.sakura.ne.jp/homestart_olive.html



お知らせ

利用者向けのちらしを作成しました。 みなさんの周囲の方に、お知らせください。
 ＊ちらしの必要な方は、事務所までご連絡ください。



子育ての先輩があなたのうちに来てくれます。

ホームスタート・おりぶ (フレスキーム)

ホームスタートとは『親が親をサポートする』
 フレンドシップな子育てサポートです。

子どもに泣かれるとイライラしてしまう
 子育てが大変で外出もおっくう
 引越してきたばかりで知り合いが少ない
 下の子が生まれて上の子と遊ぶ時間がない

そんな時、一人で悩まず、ホームビジターを利用してみませんか。
 ホームビジターが自宅を訪問し、元気になるお手伝いをします。

どんなことをするの？

お話しを聞いたり
 いっしょに
 遊んだり
 家事をしたい
 公園や遊び物に行ったり
 病院に行ったり...

香川県内在住 6歳以下のお子さまがいるご家庭
 週1回の時間 4回～6回訪問 無料
 研修を受けた子育ての先輩が訪問

本事業は平成25年度香川県訪問型子育て支援業務委託事業です。



研修を受けた子育て先輩ボランティアの方を『ホームビジター』と呼びます。
 調整役のオーガナイザーと一緒に子育て中のあなたをサポートしていきます。

ご利用の流れ

- ご本人からのお申し込みまたは、ご紹介
- オーガナイザー(コーディネーター)がご自宅を訪問
ご希望を伺いサポート内容を決めます
- 最初の訪問は、オーガナイザーとホームビジターと一緒に伺います
- ホームビジターが週に一度2時間、計4回訪問します
- オーガナイザーがご自宅に伺い訪問活動を振り返ります
- 訪問活動の終了または延長(2回まで)

ご利用について

- ★ご利用は無料です
- ★対象は、未就学児(6歳以下)のお子様のいる家庭です
- ★現在は、高松市・三木町・さぬき市・坂出市・宇多津町・丸亀市・財田町のご家庭が対象です
- ★活動はフレンドシップを主としたものであり、ベビーシッターや家事代行はしません
- ★訪問中に知ったプライバシーに関する情報は、個人情報として慎重に扱います。

お申し込み・お問い合わせはお電話またはメールで、詳しい情報は、ホームページにてご案内しております。

ホームスタート・おりぶ(フレスキーム) NPO法人 子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ内
 E-mail kcapn9999@siren.ocn.ne.jp TEL 087-8074 高松市木田上町74-5
 HP <http://kcapn.sakura.ne.jp> TEL 087-888-0758 080-2985-1556

未就学の子どもがいる家庭で、「子育てに協力して!」という家庭に、研修を受けた子育てボランティアが訪問して親を支援する組織的な活動です。

＊ベビーシッターやヘルパーではありません。

ホームスタートでは、どんなことをするの？



悩みをきく

一緒に子育てひろばや公園へ行く

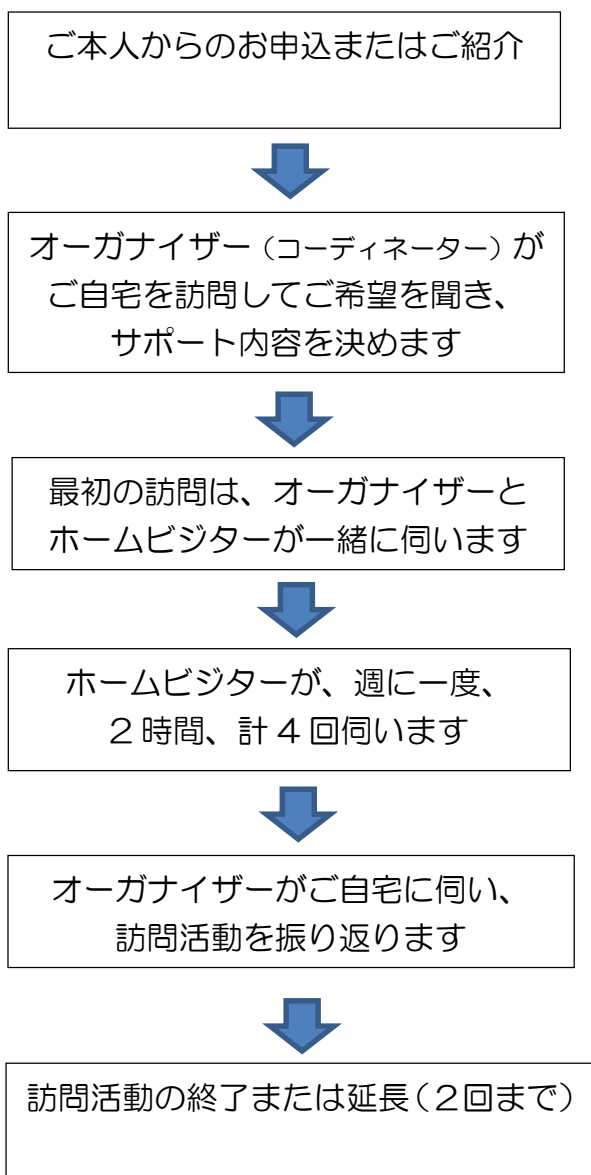
一緒に子どもと遊ぶ

★ ご利用は無料です。

一緒に病院へ行く

公共施設や子育て情報の提供

☆☆ご利用の流れ☆☆



◇◆ご利用について◆◇

□対象は、未就学児（6 歳以下）
のお子様のいる家庭です。

□高松市、三木町、さぬき市、
坂出市、宇多津町、丸亀市、
多度津町、財田町のご家庭が
対象です。

□活動は、フレンドシップを
主としたものであり、
ベビーシッターや家事代行は
しません。

□訪問中に知り得たプライバ
シーに関する情報は、個人情報
として慎重に扱います。

活動報告



平成 26 年 ホームスタート・ホームビジター（子育てボランティア）養成講座を開催しました。

会期：平成 26 年 1 月 14 日～3 月 4 日

内容：①ホームスタート・ホームビジター養成講座オリエンテーション

②ホームスタートの内容・意義を学ぶ ③家庭とは何か・親とは何か～価値観と多様性

④子どもの理解～子どもの発達・障害・人権 ⑤傾聴の意義と方法 1・2

⑥家庭で活動する上でのポイント～信頼関係・倫理・危機管理、ホームビジターの実務

⑦問題や悩みのある家庭への理解 ⑧地域の子育て支援の実際と連携

⑨家庭の中で活動する 1・2～傾聴と協働の実際

⑩講座の振り返り、修了式、登録、交流会 など

日本子ども虐待防止学会 第 19 回学術集会信州大会

平成 25 年 12 月 13 日～14 日 松本市

『信州大会』の振り返り

初日は、複数の重要課題を参加者全員で聴講する集会だった。シンポジウム、特別講演、来年名古屋での世界大会プレゼン、国際プログラム、と盛り沢山。シンポジウムは、「子どもの虐待死を着実に減らす戦略～官民で考える目標の設定と具体的行動～」。

虐待の問題を官公庁と有資格者がいかに連携して改善していくか、といった視点での進行だった。

2 日目午前中は、当会発表のポスターセッション。学術集会に参加するようになって初めてポスターセッションに取組んだ。当会はブース内 3 番手。2008 年から高松市と関わりつつ、特に昨年受託した子育て支援活動を通して確認できた事案を検証し、「NPO と行政が協働した子育て支援」として発表。ブース内の団体は、官民協働を希望しながらも単独での活動になっている現状を何とかしたいという思いをそれぞれに抱えており、意見交換は大いに盛り上がった。質問、感想もたくさん頂き、触れ合いを実感した発表となった。高松市の担当者にも発言して頂いたことで、司会者（長野県職員）との交流につながったことは、大きな収穫であった。

午後は NPO にいがたの草間氏企画「子育て期の親を対象とした子どもの虐待防止プログラムの検討と課題」、徳島大学二宮教授の「子ども虐待一次予防におけるリスクの区分・質評価と支援向上の全体的取り組み」を聴講した。NPO の発表は、虐待防止プログラムの実施と内容検討で、活動自体、私たちに身近で理解しやすかった。二宮教授の「現在取り組んでいることの 2 歩 3 歩先を見越しての実践だ」との言葉と具体策の話には感銘を受けた。私たちが取り組んでいくことも、この言葉にヒントがあると思う。民間としての活動を振り返り、今後の在り方を考えた、充実した大会参加となった。

F

「子どもは、いまを生きる」

～いま、いのちから・・・虐待を受けている子どもに明日まで待て、とはいえない～

「あなたはいつあなたになったのですか？」

「お母さんはあなたのことが本当にほしかった。一緒に、でもそれぞれの人生を生きていこうと思った」落合恵子さんの言葉の投げかけがいまも心に響く。私はどれだけ伝えることができただろう。人は偶然に家族となり、そして血縁で結ばれている。安全に生活することは安心して眠ることが出来ることだという。そんな当たり前の生活が出来ない子どもたちがいる。

今、落合さんが伝えようとしていること。光があたらなかった問題に光を当てること。それは「水着を着て隠れる部分にタッチする人に、あなたはちょっと待てと思って。あなたにとって不快なときは NO、GO、TELL。叫んで、逃げて信頼できる大人の人に話して」それは、遊びまたは絵本、人形、歌、小冊子、ロールプレーを通して、伝えることが大切。被害にあったとき、会いそうになったとき①NO（嫌という）②GO（逃げなさい）③TELL（語りなさい）ということ。

そして突然、予期しないことに遭遇した時、助けを求められた大人は子どもをまずハグ（だきしめて）そして「それはあなたの失敗ではない。あなたが悪いわけではない」と、何百回でも囁いて。なぜなら子どもたちは「自分は良い子じゃなかったからこうなった」と自分を責めているから嫌を

伝えられない。

子どもはそれぞれ、「いま」を生きている。「いま」の中で成長している。子どもの「いま」を奪うことは、子どもが「自分になっていく過程」人生そのものを奪うことである。

・・・すべての子どもから見ると、すべてのそれぞれの大人は一つの問題。どんな大人がその子の環境にいるかによって、その子の子ども時代は大きく変わり、その変化は、大人になってからも彼女や彼の人生に大きな影響を及ぼす。と落合さんは語り、絵本にもなっている「空より高く」の合唱で講演は締めくくられた。

N

全国大会に参加して

今年度は香川県のおかげで「ホームスタート・おりーぶ」プレスキームを立ち上げることができた。1月にオーガナイザーとしての実務が始まるので、よりホームスタート（HS）を知る為、HSの分科会に参加した。いきなり「市民による要支援児童等への支援が可能か？」という題に、HSは虐待予防であるから要支援児童は対象外と思っていた私は驚く。

静岡福祉大学の相原真人先生が実態調査に基づきわが国のHSスキームにおける要支援家庭への支援状況を説明してくれた。40スキームから回答があり考え方にばらつきはあるものの殆どのスキームが断ることなく訪問をしていた。利用者は申し込み時、子育て困難要素として、子育て環境や子どもの事に関しては申し出が多いが、自分自身の事に関しては、なかなか自分から話す事は少なく、初回訪問時オーガナイザーが養育者の子育て困難要素を確認することが最も多いことを知り、身の引き締まる思いがした。当会では、まだ家庭訪問が開始されていないので虐待防止を目的に傾聴、協働を行い虐待等、要支援家庭を見つけた時はすぐ行政の関係機関に連絡を入れると考えていたのだが、経験豊富なオーガナイザーになった時はそれもありなのかなと思った。そして、母が子どもに関する悩みを語っているのを聞きながら、その裏にある母の悩みをしっかりと読み取れるオーガナイザーになり、ホームビジターとの連携で要支援家庭に効果をもたらす事のできるスキームに早く成長したいと思った。

K

発表

1. ポスターセッションでは、「NPOと行政が協働した子育て支援」について発表しました。

2008年から当会は、高松市と子どもの虐待防止や早期発見・対応に向かって協働で取り組んでいます。そこで今回、高松市委託事業「子らっこ楽っ子」の活動から協働の有効性を検証しました。

2. 民間団体パネル展示では、活動を報告しました。（p 6 パネル展示内容です）

お知らせ

第 20 回 ISPCAN 世界大会・第 20 回 JaSPCAN 学術集会

子ども虐待防止世界会議 名古屋 2014

- ・ 9月14日（日）～15日（月・祝）ISPCAN・JaSPCAN 合同開催
- ・ 9月16日（火）～17日（水）ISPCAN のみ開催

信州大会 “パネル展示” で活動を報告しました！



NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ

<活動内容>

会のあゆみ

1999.9 市民団体みんなで児童虐待を考える会 発足
2000.1 電話相談開始
2000.6 NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ 設立
2006.6 親子の広場 楽っ子開始
2009.9 母親グループミーティング『ひだまり』開始
2012.4 地域拠点型児童家庭相談事業『子らっこ楽っ子』開始
2013.9 家庭訪問型子育て支援事業準備

- グループワーク事業：ひだまり、楽っ子
- 啓発及び推進事業：虐待防止勉強会、ニューズレター発行
講師派遣、オレンジリボンキャンペーン等
- 調査・研究事業：子どもの虐待に関する調査とその分析
- 行政委託事業：高松市 子らっこ楽っ子
香川県 家庭訪問型子育て支援



地域拠点型児童家庭相談事業 子らっこ楽っ子

子育て真っ最中のご家庭をお助けするプロジェクト

- ・子育て講座 “穏やかに子どもと関わる方法”
- ・子育てなんでも相談
- ・親子あそび 手遊び・季節のあそびなど
毎月 2回程度(各場所) 9時～正午頃
場所 高松市内コミュニティセンター5か所

家庭訪問型子育て支援の準備

- ・実行委員会の立ち上げ
- ・研修及び広報活動

[活動目的] 育児不安を抱えている、あるいは孤立している親子が公的な子育て支援や民間の子育て広場などを利用できるように、家庭訪問型の子育て支援を行い、つないでいく。

母親のグループミーティング ひだまり

“ひだまり”って？

お母さんが、お子さんと少しの間離れて、
悩みや不安な気持ちを“ありのまま”
安心して語り合う場
毎月第1土曜日 10時～11時30分

親子の広場 楽っ子



場所：パワーシティ屋島2F
(トイザらス前)
時間：毎月 第4水曜日
10時30分～12時30分



図1 家庭訪問型の支援の希望

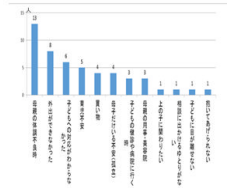


図2 利用しなかった理由

子育て支援活動 / 待つ支援から届ける支援へ！

地域拠点型児童家庭相談事業

○遊び ○子育て講座 ○相談事業



遊び／子どもとの関わり方の例示
“ ” 提示
スタッフ⇒親からの関わり方確認

子育て講座／子どもとの関わり方についての学習及び考察

グループワーク

- ・親どうしの意見交換
- ・ “ ” 情報交換
- ↓
- 親子の望ましい関わり方を模索
- ↓
- ◎共感し、共感される体験
- ◎受容し、受容される体験
- ↓
- 【子育て力の向上】

相談事業／当面の問題への対応

認識の修正 【子育て力の向上】

個別 相談の特徴

- ・グループワークでは語られない、相談者にとって辛い内容
- ・様々な事情で相談者が参加できなくなると、関わりの中絶が発生

【子育て力の向上】の 不獲得

届ける支援 “家庭訪問型子育て支援” を導入しよう！
支援者と相談者のボランティアな関係

親の個性や考え方を活かした子育ての模索

子育てへの自信
↓
良好な親子関係

複数回の個別での関わり
(必要に応じて延長or専門機関へのつなぎ)

子育て力UP

勉強会の実施

実行委員会の立ち上げ

研修及び広報



ーグループワーク事業“ひだまり”“楽っ子”平成25年度報告ー

平成25年4月から翌年3月までの期間に上記の事業を利用された方々は延べ人数で以下のとおりです。

“ひだまり”利用者は、延べ72人（大人29人、子ども43人）でした。

“楽っ子”利用者は、延べ85人（大人44人、子ども41人）でした。

★ ひだまり

子育てに悩んでいる母親が安心して悩みを話せる場です。参加者が対等な立場で話し合い、悩みを共感し合うことで自助力を高め、自分の問題を自分で解決できるように支援しています。

- ・原則毎月第1土曜日 10時～11時30分
- ・参加費：母親・子ども 各100円

★ 親子の広場 楽っ子

買い物に来られた親子を対象に、安心して買い物ができるように託児をしたり、親子で一緒に遊んだり、育児についての情報提供やお母さんの交流の場になっています。

- ・毎月第4水曜日 10時～12時
- ・参加費：無料
- ・場所：パワーシティ屋島店

ー地域拠点型児童家庭相談事業“子らっこ楽っ子”平成25年度報告ー

*利用者は、延べ1003人（保護者：476人、子ども：527人）

内訳）親子遊び：917人、子育て講座受講者：86人、子育て相談：94件

*スタッフの感想

1年間を振り返ると、初めは緊張していた親子も年度末には信頼関係もでき、子どもは喜んで参加してくれるようになった。子育ての悩みを話さなかった母も、徐々に自分を出せるようになり、心の中をさらけ出してくれるようになった。本当にぼちぼちであったがこの変化に喜びを感じた。

*利用者の声

眠い・・・疲れた・・・だけど娘は、今日も元気にニワトリよりも早く声を上げる！

（はぁ・・・）そんな時、4ヶ月検診の時に貰ったパンフレットを思い出した。

沢山のおもちゃと童謡が流れる広いお部屋に入り「こんにちは～」と挨拶の途中、既に娘は大泣き！今迄いろんな所に遊びに連れて行ったがどこも絶対に私から離れない（ここもダメか）なんて一瞬時が止まった。だけど次の瞬間、職員の方が「上手に大きな声が出せるね」って笑顔で迎えてくれました。また、同年代の子供を持つお母さん達とも成長の過程を相談しあえて「そういえばうちの子もそうだ！」なんて改めて成長の再認識。時には職員さんに愚痴も聞いてもらって・・・月に1度私の憩いの場ができました。そしたら娘にも何か伝わったのか段々お友達にも興味を持ち出し今ではスッカリオ転婆姿。相変わらず小さい怪獣に変わらないが、皆さんのお陰で心にユトリ？今日も娘が愛おしい。

T



《冊子の紹介》

- 「DAN 教授のかぞくの心のゼミ」、団士郎著、佼成出版社
- 「家族力×相談力」、団士郎著、文春新書
- 「家族の練習問題」－木陰の物語－1～4、団士郎著、ホンブロック
- 「育児の教科書『クレヨンしんちゃん』」、徳田克己著、福村出版
- 「家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』実践ガイド」、Home-Start. Japan 著、明石書店
- 「家庭訪問型子育て支援 ハンドブック」、家庭訪問型子育て支援研究会（編）、明石書店
- （絵本）「ハグくまさん」、ニコラス・オールランド著、（訳）落合恵子、クレヨンハウス
- 「人間関係でちょっと困った人&発達障害のある人のためのサポートレシピ 53」
橋本創一・横田圭司・小島道生・田口禎子編著、福村出版
- 「虐待を受けた子どもの愛着とトラウマの治療的ケア」
スーザン・バートン／ルディ・ゴンザレス／パトリック・トムリンソン著、福村出版

《活動への支援》

☆ H 25年度ご支援をいただいた方々です

国際ゾンタ高松ゾンタクラブさま 富士ゼロックス端数倶楽部さま 富士ゼロックス
株式会社さま 矢野玉江さま 松崎ミツ子さま 匿名1名さま
ご支援有難うございました。紙面をお借りし、心から感謝申し上げます。

《会員募集》

会員及び賛助会員を随時募集しております。ホームページからでも可能です。

★正会員・・・一緒に活動をしていただける方（年会費¥4,800）

★賛助会員・・・財政面で支援をしていただける方（年会費 一口¥5,000）

お問合せは、下記までお願いします。

《寄付のお願い》

当会の活動は会員の会費のみが定期収入となっており、事業の運営は助成金や寄付金収入に頼らざるを得ません。子どもの虐待を防止するために息の長い地道な活動が期待される中での財政基盤の弱さはいつも心配の種となっております。皆様の温かいご支援を宜しくお願い致します。

＜振込先＞ 郵便振替 01630-5-2437

加入者名 （特）子どもの虐待防止ネットワークかがわ

特定非営利活動法人

子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ ニューズレター№21 2014年3月発行

事務所 T E L : 087-888-0758 F A X : 087-888-1070

毎 週 月・火・水 （午前10時～午後4時）

ホームページ : <http://kcapn.sakura.ne.jp> Eメールアドレス : kcapn9999@siren.ocn.ne.jp